

2020年度 第2回 北海道ブロック協議会 第4回 北海道代協理事会 議事録

日時：2020年10月30日（金）13:00～16:00

場所：ハイブリッド会議（センチュリーロイヤルホテル、Zoom）

出席者：

日本代協理事	春日 靖		理事	姫野 芳安	札幌	理事	大橋 敏	函館
会長	佐々木 雅之	札幌	理事	平間 義雄	札幌	理事	濱中 公也	函館
副会長	伊藤 隆人	札幌	理事	高橋 典男	室蘭	理事	池田 壮	函館
副会長	佐藤 聖	苫小牧	理事	坂本 信一	旭川	理事	加茂 寛介	釧路
副会長	田代 誠治郎	函館	理事	尾野 洋介	旭川	理事	山内 正明	釧路
副会長	上畑 雅則	釧路	理事	武田 佳彦	旭川	理事	佐藤 潤	釧路
専務理事	濱谷 一弘	札幌	理事	市山 亨	旭川	理事	長尾 崇弘	釧路
常務理事	上島 史博	札幌	理事	根布 匡章	小樽	理事	野村 勇	帯広
理事	白戸 俊成	札幌	理事	川田 千春	苫小牧	理事	道田 好昭	帯広
理事	山口 史朗	札幌	理事	本田 秀一	苫小牧	理事	伊藤 秀敏	帯広
理事	広川 太一	札幌	理事	松田 博和	苫小牧	監事	多和 康司	千歳
理事	細川 直美	札幌	理事	高橋 智也	千歳	政連	壽時 康二	札幌
理事	山崎 善仁	札幌	理事	木村 勇人	函館	事務局	藤田 和代	

進行：濱谷専務理事

1. 開会の辞 伊藤副会長

2. 北海道代協会長挨拶

本日は、コロナ禍の影響で初のハイブリッド会議での開催となりましたが宜しく申し上げます。リアル会議が望ましいのですが、理事皆様の健康を第一に考えハイブリッド会議とさせていただきますことをご理解ください。他の代協においても、Webの活用が進んできております。北海道も新しい時代に対応して、積極活用していきたいと思っております。

今年度から、日本代協の北海道ブロック担当理事が丸山理事から春日理事に代わりました。今日初めてお目にかかる皆さまも多いと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

3. 日本代協理事挨拶

6月より日本代協地域担当理事になりました春日です。まだ不慣れではございますが、日本代協とのパイプ役となり、北海道代協発展のお役に立ちたいと思っております。地元は、北東北ブロック秋田県代協で、保険会社は損保ジャパン専属です。コロナ禍でなかなか皆様とお会いすることが出来ませんが、与えられた環境の中で工夫して頑張っておりますので、今後ともよろしくお願い致します。

4. 倫理綱領朗読 姫野理事の発声で行われた。その他参加者は黙読。

5. 議長選出 前回理事会で指名されていた根布理事が議長に選出された。

6. 出席理事数の確認 佐々木会長より総理事数 37 名、会場出席理事 9 名、Web 出席理事 26 名、計 35 名の出席により、理事会が成立した旨の報告があった。

7. 議事録署名人 議長より会則に則り、佐々木会長、多和監事が指名された。

8. 議事

〔Ⅰ〕承認事項

(1) 令和 2 年 7 月 17 日開催 第 1 回北海道ブロック協議会・第 3 回理事会議事録の承認
令和 2 年 9 月 18 日メールにて発信し、特に異議がなかったため承認。

〔Ⅱ〕報告事項

(1) 日本代協理事会報告 春日日本代協理事

- ・10/15 開催第 5 回理事会にて、冒頭金子会長の挨拶で、自然災害や感染症に対し先ずは代理店自社の BCP を策定し、お客様への事前の防災、減災の情報提供を工夫して実施していこうとの話があった。
- ・with コロナ・after コロナの中で、代協活動を展開していくためには Web 活用は不可欠。Web 環境構築支援で申請のあった代協に対し日本代協が 10 万円を上限として資金援助を行う事を決定した。
- ・全国に 6 名いる地域担当理事で、問題意識、情報の共有化を図っていき、そこで得た情報は北海道代協の皆様とも共有していきたいと考えている。

(2) 全国会長懇談会報告 佐々木会長

- ・with コロナの時代に代理店も対応していかなければいけない。テレワークを含めた一定のルールを整え、業務の効率化を図っていかなければいけない。
- ・オンライン面談も必須になっていくので、業界一丸となって働き方を変えていく議論をしていかなければいけない。
- ・コロナ禍による影響への対応として、顧客の経営悪化、提案機会の喪失などによる損保収入保険料の減少に伴う代理店手数料減少を考慮した手数料ポイント制度などを日本代協より損保協会並びに保険会社に要請したい。
- ・関東財務局は真面目にやっている代理店は応援している。顧客にとって、より良い業界となるよう代理店との対話を重視している。
- ・代理店合併や統合の働きかけが一方的で強引だとの報告が多く、真偽の定かでない数字（規模 5 億が基準など）が独り歩きしているし、合併代理店における組織マネジメントが不十分なケースが見受けられ、何のための合併か分からなくなっている。活力研でも議題として取り上げられたが、各社とも信頼関係を基本とした丁寧な対話を本社から指示しているとの回答を得た。現場の暴走、または本社が現場を把握していないところに問題があると思われる、再度の申し入れをした。
- ・好取組事例として、会員である（株）ビックベルでは、全従業員の PC、iPad に会社の経営方針等を入れ、いつでもお客様にご覧いただけるようにしている様子を紹介。
- ・with コロナに関して感染予防の取組、感染者が万が一出た場合の対応の周知。感染症 BCP 策定にも取組んでもらいたい。

(3) 北海道代協会長報告 佐々木会長

- ・10/21 損保協会と懇談会を行い、コロナ禍における代理店手数料ポイント緩和のお願い。
- ・これから冬を迎え、増えるであろう特定修理業者による保険金請求に対して、損保協会、鑑定会社、代協がタッグを組んで対応していこうとお願いした。
- ・例年札幌で行っている地震保険セミナーは12月中旬から1月の期間に損保協会主催でWebによるセミナー開催を予定。全道の会員、非会員、保険会社に対し、代協が全面的に動員に協力し、非会員、保険会社に代協を知ってもらう機会とし会員増強に繋げていきたい。

(4) 日本代協・北海道代協各委員会報告

① 組織委員会 松田理事（委員長）

○7/22 日本代協組織委員会報告

- ・中島委員長の挨拶で「おもしろくないと人は来ない」「楽しくないと人は集まらない」「役に立たないと持続しない」とあった。
- ・来たい、学びたいという委員会にすることが代協活動に繋がるはずなので、組織委員会は「仲間づくり」に重点を置き、「BCP策定」と「中小企業事業継続強化計画認定取得」を自主取り組み事項とする。
- ・今年度代理店賠償加入率100%を目標とし、未加入者リストから加入を促進する。Chubb+他社損保加入で100%を目指す。

○8/7 第2回北海道代協組織委員会

- ・副委員長に札幌支部の白戸理事を選出。
- ・組織委員会では日本代協入会目標は14店であるが、自主目標は24店とする。
- ・昨年初めて達成した三冠王を今年度も達成するため、全員で意識しながら取り組む。

○9/11 第3回北海道代協組織委員会

- ・昨年度の全国の組織率は50.2%だったが北海道は54.5%、もっと上げるよう努力したい。
- ・会員増強は、損保代理店だけでなく、生保専業代理店へのアプローチで結果が出ている代協もあるので、参考にして北海道も取り組みたい。
- ・オンラインセミナーは既存会員だけでなく、非会員にも参加いただくのが、会員増強に繋がっていくので、全体で取り組みたい。
- ・入会・退会報告、8月末時点入会5店、退会は29店。日本代協目標まであと9店、自主目標まではあと19店となっている。8月の段階で入会が5店、2ヵ月経った10/25日時点で増えていない。11月末（第3Q 60%）までに最低4店の入会を目指す。
- ・ビジョン委員会において、「会員資格・会費の考え方」を策定しており、各支部、北海道代協の意見をまとめて報告することになっている。

② 教育委員会 伊藤副会長（委員長）

- ・コロナの影響で開催が危ぶまれていた、コンサルティングコースセミナー開催が正式に決定した。北海道に於いては、第1回目は11/13（金）、第2回目は4/13（火）センチュリーロイヤルホテルで開催します。
- ・セミナー会場での十分な感染対策が前提となっており、サーモグラフィーによる受講者の検温、手指消毒アルコールの設置、ソーシャルディスタンスの確保など、慎重に万全を期して

準備し、開催する。

- ・コンサルティングコース受講勸奨のお願い。日本代協は 840 名の受講を目標とし、北海道代協は 40 名を目標としている。各支部目標は 11/6 第 2 回北海道代協教育委員会で決定する。受講申し込み期間は 2020/12/1～2021/2/12 となっており、12 月初旬に各保険会社を回って、募集人の資質向上の観点から、強く推奨を発信してもらい、各支部が受講勸奨しやすい環境整備をする。
- ・日本代協アカデミーは誕生から早いもので 1 年が経ち、初めての更新を向かえている中、殆どが更新している。
- ・アカデミーの北海道代協の純増目標は 99ID となっていて、各支部の割り当ても決定しているので、しっかり取り組んでいく。

③ CSR・広報委員会 池田理事（委員長）

○9/25 日本代協 CSR 委員会が Web 開催

- ・ぼうさい探検隊の取り組み推進について、コロナ禍なので少人数で、またタブレット端末使用も取り入れて実施しましょう。
- ・BCP 策定セミナーに力を入れて推進している。

○日本代協広報委員会報告 姫野理事（副委員長）

- ・日本代協 PR 動画を作成中で、都道府県毎に撮影している。北海道は佐々木会長が出演する。CM は 1 月には YouTube 配信できるよう準備している。
- ・みなさまの保険情報購読について会員の認知度が低いのが課題だが、まず役員から購読して会員にも薦めて頂きたい。PDF 版もある。

○10/23 第 3 回北海道代協 CSR 広報委員会をリアル開催した。

- ・三冠王達成のために取り組んだ、ぼうさい探検隊が 10/23 時点で 5 マップ提出の基準を満たし第一冠を達成した。各支部長・各委員の意識の高さが結果に繋がった。ありがとうございます。次年度もあるので、各支部長、役員の方は早め早めの声掛けをお願いしたい。
- ・2020 年度タオルボランティアは北海道独自のボランティア活動であり、皆様の協力あつての活動です、今年度も是非ともお願いしたい。
- ・全道広報企画は、「HO」11/24 発売「肉と温泉」裏表紙に掲載決定した。
- ・ホームページリニューアルの件は 4 社から 2 社に絞り、2/5 委員会にて 2 社よりプレゼンを行っていただき最終選定する予定。
- ・ホームページのブログと Facebook に各支部活動を掲載している。是非ご覧頂きたい。

④ 企画環境委員会 広川理事（委員長）

○7/28 第 1 回北海道代協企画環境委員会を Web 開催

- ・副委員長に苫小牧支部の石垣氏を選出。
- ・2020 年日本代協事業計画にある、公平公正な募集環境の整備、郵政グループにおける対応、自動車販売店の不適正募集改善へ向けてのレッドカードチラシの活用、共通化標準化に向けた提言を確認した。
- ・代理店賠償の担当委員会が組織委員会へ移行。

- ・今後の会議の在り方の確認として、現状は Web での開催とし、Google ドライブを活用し資料の共有をしていく。
- 7/7 第 2 回 Web・8/20 第 3 回 Web・9/23 第 4 回ハイブリッド日本代協企画環境委員会報告
 - ・エアコン無償修理を切り口に火災保険請求を進める事案が報告された。
 - ・札幌近郊では「ほけん請求の窓口」業者の活動状況、営業マニュアルについて。
 - ・ネットの一括見積等で景品を出す事例については、コンプライアンス上はギリギリセーフ。
 - ・不公正募集の情報の共有。ディーラーによる抱き合わせ販売が増えつつある。
 - ・特定修理業者について情報提供があったが、不公正募集の対象外。何が悪いのか？何の法律に抵触しているのか弁護士に確認した見解として（P39 参照）独占禁止法、刑法第 246 条に抵触。日本代協アカデミーにもあるので勉強して頂きたい。セミナーも検討する。
 - ・共通化標準化の推進、代理店の効率化についてブレイクアウトルームでグループ討議をした。
 - ・車検証が電子化していく中、自賠責証明書もペーパーレスになる。
 - ・セキュリティ面での懸念はあるが、LINE の普及率が高いので利便性がある。
 - ・自賠責の電子マネー決済、キャッシュレス化を推し進めていけたらよい。
 - ・チャネル競争力強化策（提携事業）について、集約した提携事業者はほとんどが車関連であり、今度は幅広い商品群に移行していかなければならない。DRP、JCM、タウ（車買取）等の業者があることも知られていない例があり周知徹底が必要。お客様のグリップが収益に繋がる。
 - ・チャネル競争力強化策（ロードマップ）は、「目指すべき募集人像」について、自分の代理店では何が足りないのか、何をすべきなのか、どこを目指したら良いのかが分かるものを作る。
 - ・代理店活動の現状と課題サマライズ版作成。

⑤ 事業委員会 細川理事（委員長）

○第 2 回北海道代協事業委員会を 10/16 Web 開催

- ・7 月から開催された DRP 在庫誘導キャンペーンは、コロナ禍の中、前年を上回るとご紹介をいただいたことに感謝申し上げます。
- ・各支部に今年度の事業計画をお願いしたところ、函館、釧路、帯広の 3 支部は具体的に数字を挙げて出されているので、他支部も真似して欲しい。
- ・タイムズレンタカーとの提携は北海道代協のみとなった。利用状況次第では解消もあり得るので協力をお願いしたい。
- ・函館支部の取組み。函館市はコロナ対策の一環として、「新しい生活様式対応店舗等改修補助金」という制度があって、来店するお客様がいるような会社に限定、パーテーションやマスク、空気清浄機、検温器等の購入に対して 2/3 が補助される。ALSOK ではそういった商品全般を取り扱っている所以支部との連携で結果を出した。
- ・JCM 買取実績は 7、8、9 月で札幌 1、千歳 1 の合計 2 件で、いずれも 5 万以下の買取のため手数料はなし。
- ・審議事項で提案される、車買取業者（株）タウより、サービス等について説明頂いた。

○山口日本代協副会長による活力研の補足説明

- ・活力研議事録は日本代協書庫にアップしているので、是非目を通してもらいたい。

- ・対面の定義や保険契約の手続きに関して、栗山日本代協アドバイザーは、「保険会社が実施した短期的な緊急措置は、今後も消えることはない。緊急事態とはそういうものであって、平時であれば、何年もかけて検討するような決断がほんの数時間で決断される。時間が後戻りすることはない。」と発言されている。
- ・保険会社は代理店の先にいるお客様を考えた時に、損保協会、日本代協という業界団体の存在価値をもっと感じていい。
- ・今後、間違いなく対面の定義は変わり、対面・非対面・ハイブリットも含め保険契約の手続きも変わっていく。我々代理店にとっては各社バラバラのルールだと困るので、日本代協は共通ルールにするよう強く要望している。保険会社のプラットホームは共通化して非競争領域となるのが望ましいが、それを活用する我々代理店には競争領域となる。新しい武器をどう活用するかが差別化に繋がる。
- ・自賠責は、ペーパーレス、キャッシュレス化が目前にまできているが、クレジット決済の手数料が高すぎてペンドイングになっている。各社ごとに取り組まず、業界全体で取り組む事でコストダウンが出来るので、これに関しても強く要望している。
- ・関東財務局のヒアリングについて、保険会社の社員が理解してない為、これをベースにした対話が出来ていない。日本代協から保険会社に対して、末端の社員まで周知徹底して欲しいと要望している。ヒアリングがコロナ前に行われたため、リモートワーク、オンライン募集が入ってない。対象も募集人が10名以上の代理店だった為、10名以下の代理店実態調査はこれからなので、今後も財務局の動向を注視していく必要がある。

(5) 各支部活動報告と予定 (前回以降 P46~参照)

- 【札幌】 9/2 オンラインセミナー開催 90名参加、11月からタオルボランティア運動開始
- 【室蘭】 8/28 知利別川岸清掃、10月レクリエーション、11月新聞広告
- 【旭川】 8/5 タオル寄贈、10/3 子ども基金へ20万円寄付、11月新聞広告
- 【小樽】 8/6 無保険車追放キャンペーン
- 【苫小牧】 8/31 苫小牧民報広告
- 【千歳】 ぼうさい探検隊応募、9/21~9/30 FM77.8 e-niwa 40秒スポット CM 放送
- 【函館】 7/31 代協はこだて新聞、9/28 無保険・地震保険・交通安全キャンペーン実施、10/8 道新広告
- 【釧路】 9月~2月毎水曜 FMくしろで20秒のCM、ポータルサイト保険の入り口
9/10 FMくしろ「毎度カンパニー」加茂支部長、上畑副会長 30分生出演
- 【帯広】 10月幹事会より、一般の会員もオブザーバー参加にし、情報共有している。
1月に会員向けセミナーで、内山鑑定に火災保険の鑑定をテーマに依頼。

(6) その他

- ・クレジットカード作成について 濱谷専務理事
北海道代協で、Zoom、その他 Web 関係でクレジット決済が多いことから、便宜上クレジットカードを作成した。

〔Ⅲ〕 審議事項

(1) 定款変更プロジェクトチームの設立について 濱谷専務理事
前回理事会で承認された定款変更に関するプロジェクトチーム(PT)を立ち上げ、座長には佐藤副会長、PT の人選に関しては座長に一任したいとの提案があり、全員一致で承認された。

(2) 新年交礼会中止について 佐々木会長
例年 1 月に開催しているが、日本代協コンベンション中止に倣い、北海道代協も中止の判断をさせて頂いた。
審議事項ではあるが報告事項とさせて頂いた。

(3) 公開講座の開催について 伊藤副会長 (教育委員長)
公開講座に関しては前回理事会にて教育委員会に一任となっていたが、11/6 北海道代協教育委員会で詰めていく。現時点で BCP セミナー開催の要望もあるのでそれも踏まえ詰めていきたい。

(4) 人材育成研修会の開催について 伊藤副会長 (教育委員長)
日本代協の動向を踏まえ、ご案内させて頂いた。

(5) 会員増強達成のための支部協力金支給について 松田理事 (組織委員長)
三冠王の連続達成に向け、会員勧誘のために活動している経費の一助として、令和 2 年度予算の中から委員会費 20 万円を、上記の協力金として 1 店入会 1 万円×最低自主目標 20 店入会＝20 万円を支部へ支払うことを提案する。
全員一致で承認。

(6) 釧路支部主催会員向け Web セミナー講師料の補助について (釧路支部) 加茂支部長
コロナ禍で何が出来るかを考えてきた中で、釧路支部として Web で会員向けセミナーを開催したい。Web 開催の為、北海道代協の会員も視聴可能。100 名 20 万円の費用が掛かるので、北海道代協の他支部会員向けに 20ID を提供し、5 万円の補助を提案する。
意見を集約する中で、帯広支部野村支部長から、今後の各支部でのセミナーに対して補助はあるのか?という質問があり、佐々木会長から今回の釧路支部以降の支部主催 Web セミナー補助のルールを執行部として案をまとめ、次回理事会に提案すると回答。
釧路支部の提案は全員一致で承認。

(7) 車買取業者追加登録について 細川理事 (事業委員長)
事業収入 up のため、現在、車買取業者として (株) JCM と提携し、昨年は買取実績日本一を獲得するなど強固に連携してきた。しかしながら、現状は、当初の手数料体系が変更となり、5 万円未満の車両は会員、代協共に手数料がゼロとなってしまいました。
今回、提案させて頂いた (株) タウは、5 万未満の場合でも、5 千円の手数料が発生しますし、全国 42 都府県代協が提携している実績がある事をもって、追加登録を提案する。
山崎理事より会員に対する周知や、窓口に対しての質問があったので、事業委員会で検討する

事とする。春日日本代協理事より、個人情報に留意した上でタウに名簿を提供すれば、会員に案内してくれるとの情報提供あり。

全員一致で承認。

(8) その他 濱谷専務理事

コロナ禍の中、Web 会議が主流となっていて、今会議は私物の機材持ち込みで運営しているため、機材購入についての審議をいただきたい。概算ではあるが、周辺機器を含め、50 万の予算をいただき、購入に関し、執行部に一任願いたい旨の提案があった。

山口理事より、今後、北海道代協事務所からの発信もある事を想定すれば、通信環境の整備や、モニター購入等もっと予算をとっても良いのではないかとの意見があった。

全員一致で承認。

次回議長は、根布議長の指名により野村理事（帯広支部長）と決定し、根布議長退任。

9. 監事講評 多和監事

初めての Zoom を使ったブロック会議でしたが、多少のトラブルがあったものの、回数を重ねていけば良くなっていくと思います。コロナも身近になり、お客様にも陽性者が出ましたので、皆さんも気を付けて 1 月にまた元気に会いましょう。との講評を頂いた。

10. 閉会の辞 田代副会長

○ブロック協議会・理事会閉会后、政治連盟報告を行った 壽時康二選挙対策委員

早期の解散総選挙の可能性が噂される不透明な情勢だが、業界発展のために支援議員をしっかり支えていきたい。政治連盟は、12 月決算ですので締切り厳守で会費の納付をお願いします。特に未納額の多い支部には強くお願いします。

・次回の北海道ブロック協議会・理事会は 1 月 15 日（金）

上記議事録を作成し、会長並びに議事録署名人が記名押印する。

2020 年 10 月 30 日

会 長 佐々木 雅之

監 事 多和 康司